

### 『DX』って何？ 今更聞けない意味や内容をわかりやすく解説！

『DX』という言葉やメディアやインターネットで見聞きする機会が増えました。その一方で、まだDXについてきちんと理解できていない、という方もいると思います。これからの時代を生き抜くために、覚えておきたい「DX」の中身を解説いたします。

そもそも「DX」とはどのようなものなのでしょうか。「DX」は、「デジタルトランスフォーメーション」(Digital Transformation)の略語です。デジタルトランスフォーメーションは、“AIやIoT、ビッグデータなどのIT技術を活用した企業作り”を指す例が多く、「DX化」という言葉も多く使われます。

似た言葉に“IT化”や“デジタル化”がありますが、こちらは紙媒体の書類を電子に変えたり、ITの力を利用して既存業務の効率化などを目指したりするのが「ゴール」です。DX化はより踏み込んで、ITの力で企業のビジネスを新しい時代向けに変換し、これまでにはない価値を生み出す方法として注目されています。これまで通りの戦略では事業の先行きが明るくない、売上アップが見込めない、という企業の救世主となる施策として、広く取り入れられています。

この「DX化」は、多くの日本企業が抱えている問題を、解決できる手法といわれています。

具体的には、「新型コロナウイルスの流行による企業活動の変化」「企業として求められるSDGsへの積極的な取り組み」「働き方改革に則った企業体質や考え方の改善」「まもなくやってくる2025年の壁への対応」などが上げられます。2025年の壁とは、経済産業省が「DXレポート」で指摘している、経済損失の指標です。

DX化が進められていない場合、「DX化していないシステム維持費に多額の予算が必要になる」「DX化を推進しているライバル企業に負けてしまう」「IT人材を確保するのが難しくなり、トラブルが増える可能性がある」…このようなマイナス要素があると、指摘されています。

時代が求める企業活動を続けるためにも、2025年までにDXを推進し、IT人材を獲得、教育しておくことが安心です。

一言でDXといっても、その手法は企業によってさまざまです。自社で検討するのが難しい場合は、専門家に相談してみましょう。

はじめの一歩としては、企業にあるアナログ資料などのデータを、デジタル化するのがおすすめです。デジタルデータへ変更することで、作業効率が上がるのはもちろん、通常業務を減らせるため、その他のDX化施策へ人員や時間を割けるようになります。

社内のデジタル化が進んだら、できることがどんどん増えているAIやIoT、ビッグデータなどのツールを自社にどう生かせるか、検討してみてください。顧客の悩みを解決できるツール、これまでにはない提案ができる手法を取り入れて、新しい取り組みをどんどん進めていきましょう。

### Windows11で「PrintScreen」キーから「Snipping Tool」を起動できるようになりました

「Print Screen」キーは、長らくPC画面のキャプチャを撮るためのキーとして重宝されていました。「Print Screen」単独で「画面全体をキャプチャ」、[Alt]+[Print Screen]で「アクティブウィンドウのキャプチャ」、[Windows]+[Print Screen]で「画面全体のキャプチャを撮り、クォータフォルダに保存する」という機能があります。



しかしながら今では、ウィンドウだけでなく自由な形状や四角形で画面を切り取ったり、キャプチャした画像にペンや蛍光ペンで書き込んだり、任意の場所に保存したりできる、より高機能な「Snipping Tool」の出番が多くなり、「Print Screen」の影が薄くなりつつあります。

そこで、Windows11では、「Print Screen」キーを「Snipping Tool」を起動するスイッチに変更できるようになりました。

設定する手順は次の通り。① Windowsの「設定」画面左側のメニューから「アクセシビリティ」を選択 ⇒ ② 「操作」欄の「キーボード」をクリック ⇒ ③ 「プリントスクリーンボタンを使用して画面切り取りを開く」をオンにする。

これにより、「Print Screen」を押すと「Snipping Tool」が起動（[Windows]+[Shift]+[S]を押した時と同じ状態）でできますよ。

### ★チラシ・フライヤー・会社案内・名刺など

デザイン制作・印刷 お任せ下さい!!

### ★ホームページ制作お任せ下さい!!

オリジナルデザインで更新しやすいホームページを!

今あるホームページの編集作業もお任せ!!

◎ パソコン本体・周辺機器のご購入やパソコントラブルご相談下さい!

◎ パソコン教室 無料体験実施中!

マデコムのFacebookへの👍 いいね! お待ちしております

## 株式会社 マデコム



〒510-8122 三重県三重郡川越町豊田659-1

TEL : 059-366-0888 FAX : 059-366-0877

E-Mail : office@madecom.co.jp

URL : https://www.madecom.co.jp

発行 : 2023年5月1日

編集・作成 : 早川尚孝

